

汝が身を離れされ」の送別の声に励まされ盡きぬ名残を惜しみつつ瀬谷牧師にホームまで見送られ、イエス様のみ守りの中に希望に満たされ何もこわいものがなくなりました。

車中の夕暮の空の光も風景も一そう輝いてみえます。神様が宿っていれば、往きと帰りはこんなにも一変してしまうものかしらと……。

その後も働き過ぎては胃潰瘍が再発し、生まれ変わりし故郷、秋南病院に入院しました。

幽霊のようになって横手駅に到着しますと、その都度赤帽さんが駆けつけて下さり荷物を持って親切にハイヤーまで乗せて下さいます。見ず知らずの私如き者を、あの大勢の中から見つけ出して下さるなんて、この事も神の恵み導きとしか思えません。

言い盡くせない感謝のお陰で快復が早く、皆さんから太田さんは、神の恵みを一人づつしていると言われていました。それでは勿体ないと思い、朝早く起き病院の廻りの菊の花を摘んでゆでては朝の食事の足しにくばったり（ゆするしがでていますので）浅舞教会夕礼拝の説教をテープに吹込んで来ては患者さんに廻し聞きする等、聖言が少しでも心の糧となって働き励めと感謝で恵みが与えられ一日も早く快復が早かれと祈りつつ、

三度目の再発の時だったのでしょうか。レントゲンの結果、院長室に呼び出され、ガン？もう少し様子をみますが、とくわしく説明されました。私は全てを神にゆだねた身、今更におどろく事もございません。今まで何回も命拾った体ですから、でも願わくは生きて長らえて神様と人々にご恩返しをしなければ、と思いつた日から早朝に起床して屋上に行つて、一心に神に祈り続けました。四方は朝もやで何も見えません。神様と二人きりです。そうこうしています中に霧の中から鳥海山の頂、山々の頂、森の先々と、やがて御来光を仰ぎ神秘的風景から現実の世界に変わる様子を一人楽しんでみました。一ヶ月後ガンの疑も晴れ、一心に祈る事によって神様は、きつと希望を叶えて下さる事に確信を与えられ心から感謝でした。

娘は其の頃埼玉県の独協大学の近くから、東大近くの西片町教会、鈴木正久牧師の許に通っておりまして、私も同じ教会に籍を置き、

当時私は、松戸市で病人の家庭看護をしておりまして、又御家族の方も理解して下さり、主日毎に教会で出逢う事が出来ました。

鈴木正久牧師と瀬谷重治牧師は偶然にも親友との事で私達まで大事にされ、この事も神様の御配慮の賜でございます。

鈴木牧師は当時総会議長をしておられ大きな使命を果たされまして昇天なさいました。娘の結婚式は西片町教会で瀬谷牧師の司式の許に行つて頂きました。

私も娘の子育て役も終り上山の再婚先の孫に迎えに来られて、上山教会に転籍しましてから、十年になりました。か。八年前胃潰瘍を手術しましてからは、すっかり健康が与えられ感謝の毎日でございます。

家族も私の教会の為に協力してくれるようになり、神様の深い愛のもとに若草の牧場で憩わせて頂くようになりました。

振り返ってみますと神様からの奇跡的恵みは数えるに限りなく、唯々主のみ名を崇むばかりでございます。

今日、上山教会百年祭をお迎え出来ました私共は、本当に光栄に存じます。

百年もの昔よりこの小さな群を支え導いて下さった主のみ名を心より讃美申し上げます。

又、先輩の兄弟姉妹達の信仰生活の御苦勞を偲びつつ私達も、常に復活の主を仰ぎ十字架を負つて証人として、み名の栄光のため、上山教会発展のため希望にあふれて信仰の道を歩みたいと希つて居ります。

私が東京西片町教会（故鈴木正久牧師）より上山教会に転入したのは今から十年前になります。

東京の教会では何時も百人以上の出席者で会堂は活気に満ちあふれておりました。

上山教会に移り、急に五、六人の小さな群れて、本当に淋しいおもいでしたが、キリストの身体なる教会に変わりありません。当時私は胃潰瘍をわずらつておりましたが、一人欠席しますと大きな空席に感じられ、主日だけは礼拝を旨るように心掛けていました。

河村牧師は非常に静かな方で特に絵が上手で週報には、いつも素敵な絵を添えられ、目をみはつておりました。先